長崎市立橘中学校 学校だより 第17号 令和7年11月21日

校長 宗 友博



福中百景TACCYHUUHYAKKEI

今回は、前回に引き続き2学期前半の様子を紹介します。

矢上くんた





10月17日(金)、矢上神社で矢上くんちが行われ、蠣道浮流が奉納されました。この蠣道浮流には、本校の生徒5人が参加しました。この日に向けて夏休み頃から本格的に練習を重ねてきたそうです。矢上神社の神事の後、橘中学校にもお越しいただいて奉納踊りを披露いただきました。地域の皆さんが大勢で参加する見応えのある浮流に生徒の皆さんも見入っていました。地域の伝統文化を継承する営みに本校の生徒も加わっていることを心から嬉しく思いました。





10月19日(日)に合唱コンクールを行いました。どの学級もこの日に向けて練習を重ね、その成果を披露することができました。どの学級も素晴らしかったのですが、3年生は特に素晴らしかったと思います。2年生や1年生にとって3年生の姿は来年の目標となって目に焼き付いたと思います。上級生が範を示す。これが橋中の当たり前になるように生徒と共に頑張っていきます。また、「橘中学校子供を応援する会」の皆さんで一緒に合唱を披露できたことも、生徒に様々なメッセージを届けることになったと思います。地域や保護者の皆様に多数参観いただき、盛会のうちにコンクールを終えることができました。ありがとうございました。

職場体験学習





10月28日(火)から10月30日(木)までの3日間、2年生が職場体験学習に取り組みました。 「職場体験を通して感謝の気持ちを忘れないことやお客さんのことを最優先に考え、思いやる気持ちが良いお店をつくっていくということがわかりました」これは、ある生徒のお礼状の中にあった一節です。この生徒は体験を通して自己の人間性の高まりを感じたそうです。生徒の人生にとって価値ある経験をさせていただいた事業所の皆様、ありがとうございました。



合唱コンクー

学校ホームページ 二次元コード